

モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行 2017年 4月 30日

通算 170号

三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

4月6日(木曜日)

心地よい汗を流す

【参加者：梶川、芝田香、芝田美、中、山本

計5名】



寒い日が続き、例年より遅かった「ソメイヨシノ開花」の便りが、各地から届くようになった。

今日も先月に引き続き枯れマツの除伐である。参加者が少なかったが、その分一人一人が奮闘。心地よい汗を流した。

花菖蒲も順調に生育し、元気な葉を伸ばしている。

公園のあちこちで、ハルリンドウが可憐な花を咲かせていた。

4月13日(木曜日)

枯れマツの除伐、慎重に

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、鈴木明

計8名】



森林公園のあちらこちらで、コバノミツバツツジが満開を迎えた。鮮やかなピンクが森林公園を訪れる人を楽しませている。

7番、8番東屋周辺の枯れマツを除伐する。直径35センチ位の枯れマツを除伐。東屋に近いため、ロープで倒す方向に引っ張ったのだが木にかかってしまった。かかり木を切った時に枯れマツも一緒に倒れ、ヒヤッとする場面があった。除伐前の的確な判断が大切であることをあらためて肝に銘じた。



4月20日（木曜日）境界線の道を整備

【参加者：池本、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、山本、鈴木明 計7名】



森林公園の境界線の道を整備していった。山本さんが境界線を確認しながら先頭を行ってくれる。伸び放題の笹を刈り、道に生えた木を伐り、飛び出した枝を切り、前に進んでいく。隠れていた道が徐々に姿を現し、道が整備されていった。途中、いくつもの池があり、昔の人はこの辺までも切り開き、棚田を作っていたことがうかがわれた。一番高いところは平らで見晴らしも良くなっていた。コバノミツバツツジやハルリンドウも綺麗な花を咲かせ、私たちに和ませてくれた。冒険心や想像力をかきたててくれる作業であった。



4月27日（木曜日）風のとりでからの眺望よくなる

【参加者：池本、梶川、芝田香、芝田美、鈴木哲、中 計6名】

「風のとりで」から上野城を望む方向の眺望を良くするために、常緑樹の除伐を行った。15本、主にマツを除伐。

作業後、上野城はさすがに見えなかったが、落葉樹の新緑の黄緑色が目に飛び込んできた。すべてが、新鮮で若々しくなった感じである。



